

第7話「清水(湧き水)を活かしたまちづくり」 名水を愛し守る六郷のまちづくり

清水(湧き水)を活かしたまちづくり

名水を愛し守る六郷のまちづくり

美郷町六郷の概要 ～名水百選はじめ水の5冠のまち～

秋田県美郷町は、秋田県の東南部、仙北平野のほぼ中央、横手市と大仙市の中間に位置し、人口24,207人、世帯数6,297世帯(平成12年国勢調査)で、平成16年11月1日に六郷町、千畑町、仙南村の2町1村が合併して誕生した町です。

六郷は、古くから県南の商業の拠点として繁栄した町であります。また、町の市街地西部地区では、奥羽山脈に源を発する扇状地のいたるところから清水が湧き出ている、昭和60年の「名水百選」をはじめ「水の郷百選」「水源の森百選」「甞る水百選」「遊歩百選」などに選定され、近年、その湧き出る清水を目当てに観光客が数多く訪れています。

六郷の住民は、昔から清水とともに生活をしてきました。清水を飲み水として、野菜を洗い、洗濯あるいは天然の冷蔵庫として活用、今でも地下水を自家用ホームポンプで汲み上げ飲料水、生活用水などに利用しています。また、この豊かな水を利用して、ニテコサイダーなどの清涼飲料水や酒造などが盛んに行われており、まさに、水(清水)は六郷の街を創り、産業を興し、文化を育んだ貴重な財産であるといえます。



御台所清水

限りある水資源を守るために ～地下水調査と人工涵養～



地下水涵養池

かつては「百清水」と言われてきた六郷湧水群は、現在75箇所ほどになり、湧水量も年々減少傾向になっており、中には枯渇するものもあります。このため、秋田大学肥田登教授の指導のもとに、湧水量や浸透量、地下水位の調査を行い、人工涵養施設として涵養水田の設置、涵養池の造成、涵養側溝の設置、熱利用施設の排水の強制浸透などの施設を設置するなどの対策を実施しております。

さらに、地下水の再利用として清水の水を市街地の融雪に利用したり、貴重な水資源を守るため「ぶな」の植樹を行うなど町ぐるみで清水(湧水)の保全に取り組んでいます。

また、町内の代表的な清水を公園にし、住民や観光客の憩いの場として清水を活用するほか、町内各地に自動水位計の設置、現在の地下水位を自動的にお知らせする地下水表示装置などを設置し、町民への地下水対策の啓発を行っており、町民挙げての地下水保全に取り組んでいます。

六郷の宝「名水」で賑わいの復活 ～中心市街地活性化事業～

癒しとほんもの体験の地域生活観光をめざす

六郷を詠んだ戯れ歌に「養栄丸に百清水、多い寺々、たえぬ金持ち」と繁栄を続けた六郷も商店街の空洞化が進み、中心市街地を中心としたアメニティ空間の創造と賑わいの復活が必要となってきており、六郷のかつての賑わいを取り戻すために、町民の貴重な財産である「清水」に着目し、中心市街地の魅力を創造、買い物客の流出を防ぐと同時に、新たな観光客の誘客により、街の賑わいを復活させることを目指しています。

そのコンセプトは「名水を愛し守る六郷のまちづくり」として、観光客を呼び込む「顔」(第一拠点)とその観光客を商店街へ呼び込む「顔」(第二拠点)とそれを繋ぎ、湧水群を散策するメイン回遊ルートとしてのユウ(湧)ちゃんロードと寺町・掛け唄の2サブ回遊ルートを形成し、それぞれバラバラになっていた湧水群と商店街を繋ぎ、ネットワーク化を図ろうとするものです。

ニテコ清水とレストランニテコ名水庵・手づくり工房「湧子ちゃん」(第一拠点)

観光客がたくさん訪れる六郷湧水群の代表「ニテコ清水」の水を活用した「流しソウメンのニテコ」は観光客や近隣の人々にも親しまれていましたが、後継者問題などで廃業、それを町が取得をし、新たに「ニテコ名水庵」としてリニューアル、合わせて地場製品の販売と地域の特産品の製造加工施設としての「手づくり工房湧子ちゃん」を建設、名水豆腐、おからドーナッツ、ニテコサイダーや漬物などを「湧子ちゃん」で製造、「ニテコ名水庵」で提供しています。

特に、夏場の「ニテコ名水庵」での流しソウメンは、六郷ならではの味として待ち時間ができるほど繁盛しており、冬の名水豆腐懐石料理は新たなニテコの看板メニューとして好評を集めています。



ニテコ名水庵

名水市場「湧太郎」 清水と酒がテーマの水文館などの多目的施設（第二拠点）

六郷湧水群に訪れた観光客を商店街へ引き込む顔（第二拠点）としての名水市場「湧太郎」は、廃業した酒蔵を改造して新たに六郷の観光拠点として生まれ変わりました。

名水市場「湧太郎」は、六郷の清水を活用した特産品、酒やサイダー等のお土産の販売、朝市広場等の観光施設、レストランやホールなどのコミュニティ施設が整備されています。

中でも、子どもたちが六郷の清水や地下水を始めとした水に関する学習ができる施設、観光客に酒造りや六郷の歴史などを紹介するテーマ施設として整備された「水と酒の学習施設“水文館”」は、“清水の街六郷”の顔として連日観光客や町民で大いに賑わっています。



名水市場「湧太郎」

清水と商店街をつなぐ回遊ルート“ユウちゃんロード”

ニテコ名水庵、六郷湧水群と湧太郎、商店街をつなぐ回遊ルートとして“ユウちゃんロード”が整備されています。この“ユウちゃんロード”の“ユウちゃん”は、漫画コボちゃんの作者上田まさしさんがつくってくださったもので、コボちゃんの「いとこ」という設定です。

ユウちゃんロードは、観光客が清水や商店街を散策できるように、道路の美装化、案内看板などに工夫を凝らした回遊ルートで、約一時間半で六郷の街や清水が散策できます。

この他に、町内26カ寺や日本古来の歌垣が今に伝わる掛け唄が行われる熊野神社の散策ができるサブ回遊ルートなどで、六郷の清水や歴史が堪能できます。

“まちづくり”はみんなの力を結集して「TMO六郷まちづくり(株)」



ニテコサイダー

この六郷のまちづくりは、行政だけが行っているのではなく、地元住民68人が出資したTMO (Town Management Organization) 機関である「六郷まちづくり株式会社」が主体となり、住民や団体、行政が連携・協働して町おこしを実施しています。TMO六郷まちづくり(株)は、ニテコ名水庵の経営、手づくり工房湧子ちゃんの管理、名水市場湧太郎の建設・運営のほか、六郷の特産ニテコサイダーの製造販売を実施しております。

名水百選六郷湧水群のまち「美郷町六郷」は、名水を愛し守りながら、着実にまちづくりを進めています。どうか、おそろいで六郷のまちへお出でください。

清らかな清水と
それを守るあたたかい人情が
みなさまをお待ちしております。